

令和8年度（生物基礎）シラバス

教 科	理科	科 目	生物基礎		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	理系
教 科 書	生物基礎 新訂版（実教出版）		副教材	セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、生物基礎・生物実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会）	
学習目標	(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 章 生物の特徴 1 節 生物の多様性と共通性 2 節 生物とエネルギー 2 章 遺伝子とその働き 1 節 遺伝情報と DNA 2 節 遺伝情報とタンパク質の合成 3 章 ヒトのからだの調節 1 節 体内環境 2 節 体内環境の維持のしくみ	○すべての生物に見られる共通な特徴を理解する。 ○生物の体の基本単位である細胞の構造について理解する。 ○生命活動に必要なエネルギーをどのように獲得しているのか理解する。 ○DNA にはどのような特徴があるのか理解する。 ○遺伝情報が親から子へどのように受け継がれるのか理解する。 ○遺伝情報からどのようにしてタンパク質がつくられるのか理解する。 ○ヒトの体内環境の変化がどのように認識されるのか理解する。 ○ヒトの体内環境の変化に応じて、どのようなしくみが働いて一定の状態に保たれるのか理解する。
2 学期	3 節 免疫 4 章 生物の多様性と生態系 1 節 植生と遷移 2 節 植生とバイオーム 3 節 生態系と生物の多様性 4 節 生態系のバランスと保全	○ヒトの体は、病原体の侵入をどのようなしくみで防いでいるのか理解する。 ○植生と環境が、時間の経過とともにどのように移り変わっていくのか理解する。 ○生物どうしの関わり合いが生物多様性にどのように影響しているのか理解する。 ○人間活動が生態系に与える影響を理解し、どのようにすれば生態系を保全することができるのか理解する。
3 学期		

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・学習した生物の基本的な概念や原理が正しく理解している。	・定期考査
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって科学的・論理的に思考し、判断している。	・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に対して主体的に関わり、理解しようとしている。 ・観察や実験に主体的に取り組んでいる。	・小テスト ・ノートや課題 ・実験ノートの記録・考察